

BULK CHEMICALS

株式会社 バルクケミカルズ・ジャパン

2009年1月14日作成 2012年7月26日改定 整理番号 002

製品データ情報

バルククリーナー BK690

(浸漬/スプレー用)

A. 特長

バルククリーナーBK690は、アルミニウム素材の塗装前処理における洗浄、調整に適した酸タイプの脱脂剤です。発泡性を低減した製品ですので、ステンレス製や耐酸加工を施した設備にて浸漬法やスプレー法にて適用可能です。

B. 使用方法概要

1. 薬品濃度：処理槽容量が1000Lの場合、希釈水を満たしてから、BK690を30～50L加えて攪拌してください。
2. コントロールポイント（通常のオペレーション条件）
 - 1) バルククリーナー滴定： 8.1 ～ 13.5 ml
 - 2) 温度： 室温 ～ 55℃
 - 3) 処理時間： 30秒 ～ 5分

注意：滴定の詳細はC項を参照。推奨オペレーションの詳細はD項を参照。

C. 処理液管理（滴定方法および補給方法）

バルククリーナーBK690処理液は、当社の滴定セットBK690用または同等薬品を用いて、工場内にて滴定管理を行ってください。尚、処理液の電気伝導度に基づいた自動補給装置を導入すれば、安定したオペレーションを容易に行うことができます。

遊離酸度 (FA) 滴定

- 1) ピペットで処理液サンプル10mlを三角フラスコに採取します。
- 2) 約100mlの蒸留水を加え、指示薬「メチルオレンジ」を5～7滴加えて攪拌します。サンプル液が赤色になります。
- 3) 試薬「0.1N水酸化ナトリウム (NaOH)」を目盛り0位置までビューレットを満たします。
- 4) フラスコを緩やかにかき混ぜながら、サンプル液の赤色がオレンジ色に変わるまで試薬をゆっくり加えます。
- 5) この時の試薬の使用量 (ml) を記録します (遊離酸度 (FA))。

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

濃度計算方法

$$\text{BK690 の濃度 (\%)} = \text{遊離酸度 (ml)} \times 0.34$$

補 充

BK690 の滴定値を 1ml 上昇させるには、処理液 1000L につき BK690 を 340ml 加えます。

エッチングの促進

BK690 のエッチング度は、バルクトナー45 を加えて促進させることができます。処理液 1000L に対してバルクトナー45 を 1L 程度加える事を繰り返しながら処理液のエッチング度を徐々に促進させて調整します。

D. 運用上の注意

- ここに説明している初期の管理ポイントおよび補給用データは、ほとんどの設備に対応する標準的なものです。しかしながら、特別な条件によって処理する必要がある場合には、これとは異なる方法の適用も考えられます。その際は、当社技術スタッフにご相談ください。
- 処理材が過度に汚れており粉体クリーナーの添加が必要な場合は、バルクソル・クリーナー添加剤のご使用をお勧めします。当社技術スタッフが、最適なバルクソルを選択いたします。
- 油分の中には処理液を強く発泡させる原因となるものがあります。バルククリーナーBK690 は発泡性を低減した製品ですが、もし処理液が過度に発泡する場合には、バルクディフォーマー添加剤のご使用をお勧めします。当社技術スタッフが、最適なバルクディフォーマーを選択いたします。

尚、当社では、ユーザ様の管理業務をお手伝いするプロセス管理システムをご提供しています。詳しくは、当社スタッフおよび代理店にお問合せください。

E. 設備に関する注意点

バルククリーナーBK690 が使用される設備（処理槽・シャワーブース等）には、ステンレス、もしくは耐酸性を有する適切な材質をご使用ください。

以 上